

未来に向かって 自ら羽ばたける北っ子！

～考え動く 人とつながる 未来を創る～

今年もよろしくお願いします。 ～未来を創る～

午

3学期の始業式では「未来を創る」ことについて話をしました。子ども達には、自分の未来は自分でプロデュースしていく力をつけていってほしいと願っています。20歳を迎えた時、自分は何をしてみたいか、もっと近くに視点を移せば、4月になって新しい学年がスタートした時、何ができるようになっていったいか、それを目指に3学期を過ごしていこうと話しました。

1月11日のとんどでは、つきたてのおもちをいただき子ども達は大喜びでした。「ぼくは8個！」、「ぼくは10個！」と休み明けの給食の時間、話題になっていました。いつも子ども達にかけがえのない体験を与えてくださり本当に感謝いたしております。今年の干支は丙午。丙（ひのえ）も午（うま）も火を表しエネルギーが高まる年だそうです。今年も北っ子をよろしくお願いします。

簡易ベッド組立て体験

地域とともに 避難所開設訓練

1月16日、丹波市市民安全課と幸世自治振興会と合同で防災訓練を行いました。

- 丹波市職員の方と地域の方との地震避難所開設訓練
(地域の方がそれぞれ避難者の役になりきり、丹波市職員さんがそれに対応する訓練です。)
- 北小地震避難訓練
- 丹波市消防水上支団による放水
- 北小児童の防災学習 ・防災講話
 - ・避難所で使用する簡易ベッドの組み立て体験
 - ・警察車両(レスキュー車やパトカー)、消防車両見学
 - ・被災時のパッククッキング見学
 - ・丹波市豪雨災害のパネル展示見学



多くの方々のご協力により、様々な防災学習ができました。ありがとうございました。子ども達も興味を持ち、真剣に取り組んでいました。災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。幼少期から訓練し、備えておくことが大切だと感じました。

災害に備えて、地域の方々にお知らせしたいこと

その1 丹波市の災害における避難所は、

- ①第1次：丹波市指定施設（水上住民センター等）
- ②第2次：各小中学校となっています。ただし北小は、浸水の場合、2階以上での適応になっています。

※地震等の不意の災害時は、学校職員が在勤していないことも想定されます。

その3 備蓄品について

飲料水、食料品の備蓄は学校にはありません。毛布の備蓄は10枚のみです。備蓄品は各支所から順次配布になります。緊急避難時には可能な限り持参していただく必要があります。

指定緊急避難所	浸水	土砂	地震
北小学校	▲	●	●
幸世交流施設	●	●	●
大師の杜ホール	●	▲	●

▲北小：浸水2階適応 大師の杜：土砂災害あり
●適応

その2 北小が避難所になった時の施設開放について

開放する教室	開放しない教室
順位1 体育館	職員室
2 会議室1	校長室
3 会議室2	理科室
4 図書室	保健室
	調理室
他の教室は本部で協議する	